

**令和 2 年度
季節労働者雇用実態調査結果**

帯広・南十勝通年雇用促進協議会

令和2年度 季節労働者雇用実態調査結果

1. 調査目標

季節労働者の方々の労働条件や雇用実態、就労への意向を把握し、これからの事業の実施へ反映させることを目的とする。

2. 調査対象

当協議会管内の季節労働者

3. 調査方法

今までに協議会の事業へ参加した方及びハローワークより名簿提供を受けた季節労働者に対し調査票と返信用封筒を郵送し、協力を依頼した。さらに各事業参加の際にも直接協力依頼した。

4. 実施期間

令和2年7月1日を基準日とし8月末日を調査期限としたが、3月まで延長実施した。

5. 配布枚数及び回収枚数

季節労働者452名に対し直接送付し、91人の方々から回答を得た。(20.1%)

6. 調査結果の概要

【回答者】

有効回答者数は87人である。

「男性」が87.4%、「女性」が12.6%であり、今回も回答に占める「男性」の割合が非常に多い。

「男性」の年齢構成では「40歳代」24%が一番多く、次いで「20歳代」22%、「30歳代」14%、の順となった。前年は「65歳以上」が21%と一番多かったが、今回は「65歳以上」は11%と減少している。

「女性」は「40歳代」が64%、次いで「50歳代以上」が27%の順であり、回答者の年齢構成は前年と同じ傾向であった。

また、回答いただいた方の居住地の95%が帯広市であった。

【家族構成】

特徴的な傾向は見られない。前年は「2人世帯」の割合が一番多く35%だったが、今回は「2人世帯」は18%と少なく、「1人世帯」の45%が一番多かった。次いで「3人世帯」21%の順になっている。

世帯での働き手は「本人だけ」が一番多く42%、次いで「本人のほか1人」が38%、「本人のほか2人」10%の順になっており、前年と同じ傾向にある。

【年収・賃金】

季節労働者本人の年間収入で一番多いのは前年と同じく「200万円以上 250万円未満」30%であった。次いで「150万円以上 200万円未満」と「300万円以上 350万円未満」がともに14%だった。

賃金の支給形態で一番多いのは「日給制」であるが、前年80%から68%に減少し、次に多い「月給制」が7%から21%へと増加している。

支給日額では1番多いのが「10,000円以上 11,000円未満」と「12,000円以上 15,000円未満」でともに25%で、前年と同じ傾向にある。

また、「男・女」で支給日額は異なり、「男性」は「10,000円以上 11,000円未満」と「12,000円以上 15,000円未満」が28%で一番多く、次いで「11,000円以上 12,000円未満」が13%の順になっている。

「女性」では「8,000円以上 9,000円未満」が60%と一番多かった。

支給形態で「月給制」の割合は従来から少なかったが、今回は87名中18名(21%)で前年の124名中9名(7%)から増加した。ただ、「女性」の回答では「月給制」はなく「日給制」55%と、「時給制」45%との結果だった。

家計における収入の役割は「男性」では84%が「家計の中心」で前年と同じ傾向だったが、「女性」では「家計の中心」が82%となり前年58%から大幅に増加し、「家計の補完」は42%から18%と大きく減少した。

【業 種】

勤め先の業種では、「建設業（総合工事業）」が前年27%から34%となり一番多く、次いで「建設業（職別工事業）」が29%から28%となり二番目である。全体としては「建設業」が突出し、次いで「農業」8%、「造園業」7%の順であり、例年通りの業種の傾向になっている。

また、「男・女」の傾向も「男性」では「建設業（総合工事業）」38%、「建設業（職別工事業）」29%、「造園業」7%、「農業」7%の順で「建設業」に集中する傾向は例年と同じである。

「女性」も「農業」と「建設業（職別工事業）」がともに18%という結果で前年と同じ傾向であった。

【雇用状況】

季節労働者になった理由は、「常用の仕事がないため」41%、次いで「仕事の内容が自分に向いている」27%、「冬期間休暇がとれる」11%、「収入が高い」11%の順で前年と同じ傾向にある。

経験年数は、「昨年から」「3年以上 5年未満」「5年以上 10年未満」がともに16%と一番多く、次いで「今年から」が14%と続く。「10年未満」が全体の7割を超える状況にある。女性では全体の9割が「10年未満」である。

雇い入れの時期は「4月」の雇い入れが32%、「5月」が29%、「7月以降」が15%の順となり雇い入れ時期は前年より若干早かったようである。

また、離職時期は「12月」が31%と一番多く、次いで「3月」の16%、「2月」の15%

の順で前年と同傾向にある。

【雇用保険・離職期間】

雇用保険については「受給資格がついた」との回答が85%、「日数が足りず受給資格がつかなかった」はなかったが「雇用保険をかけてもらえなかった」が3%で全体的に前年と同傾向であった。

離職期間の過ごし方は、「就労していない」が年々増えていて前年68%であったが、今回55%に減少している。次に多い「アルバイトなど短期・臨時の業務に就労」は前回24%から32%に増加している。前年より若い回答者が多いことも要因として考えられる。

離職期間中の就労日数は「16日～30日」が25%と一番多く、次いで「7日未満」と「7日～15日」がともに22%となり就労期間は短い方が増加している。また、「31日～60日」と「61日～90日」を合わせると32%で前年と同じであるが、「90日以上」は前年12%からゼロとなり、全体として離職期間中に就労している人の割合は増加したが、就労期間は前年より短くなっており、昨年とは逆の状況になった。

【就労の考え方について】

就労先は離職する前と「同じ会社」で働いているが74%、次いで「他の業種の会社」が14%、「同業の違う会社」10%の順で3年続けて同じ傾向であった。また、「同じ会社」で働く方が圧倒的に多い状況も例年通りである。

通年雇用化については、「今の仕事（職種）で通年雇用を希望」が前年29%から44%に増加一番多い回答となった。また前年一番多かった「このまま季節労働を継続」は30%から18%に減少した。通年雇用を希望する方は、「職種を問わず通年雇用を希望」の20%を含め64%となり、ここ数年では一番多い結果となった。前年からの比較でも若い回答者が多いためか通年雇用の意向が増えたと考えられる。

通年雇用を希望しない理由では「家で休養・ゆっくりしたい」が一番多く前年38%から56%に増加、次いで「通年雇用は困難と判断している」が38%から28%に減少している。

希望する通年雇用の仕事は「建設土木作業」が44%と一番多く、次いで「運送関係」が15%、「特になし」が13%と続く。「建設土木作業」が多いのは、回答者の6割以上が現在建設関係で働いていて「今の職種での通年雇用を希望」との回答者も4割以上いる結果だと言える。

通年雇用に向けた活動では、「特に活動していない」が31%で一番多く、次いで「求人情報誌などで求人情報を探している」17%、「資格取得のため講習などを受講している」15%の順であった

。前年は「知人・友人などを通して求人情報を探している」が22%、「ハローワークによる情報収集」が20%、「求人情報誌などによる情報収集」18%の順で、その前年も同傾向で求職に向けた情報収集の割合が多かったが、今回の結果を見ると従前とは違い「特に活動していない」が一番多いことや情報収集も人との関わりがないような「求人情報誌などによる情報収集」との結果はコロナ禍での影響も一つ考えられる。

また、この1年間で通年雇用に向け就職試験や面接を受けた方は、前年30%から今回

20%に減少し、「受けていない」方は前年 67%から 80%に増加した。通年雇用に向け具体的行動を起こす割合は一層少ない状況にある。

就職試験や面接を受けた方の求人情報の入手先は「知友人」が 36%、次いで「ハローワーク」27%、「求人情報誌」18%の順で前年と同傾向であった。

また、就職試験や面接を受けていない理由では、例年「希望する業種・職種の求人がない」が一番多く、今回も 51%と前年につづき 50%を超えている。

【協議会について】

協議会の利用については「利用したことがある」が前年と同じく 47%で一番多い。

「協議会のことは知っているが、利用したことはない」18%、「これまで利用したことはないが、今後利用する予定」16%を合わせると協議会の存在自体は 81%が認知している。

今年度の各事業への参加は「人材育成事業（作業免許技能講習）」が前年 29%から 27%に、次いで「意識啓発セミナー」も 26%から 18%に、「資格取得助成」も 16%から 7%へと減少しているが、「特別教育・安全衛生教育」は 5%から 17%に増加した。

各事業の参加状況からは特に傾向を読むことはできないが、多くの事業が長期にわたって継続実施しているため、今後、参加者が大きく増えることは考えにくく、今まで以上に参加者が何を求め、どのような事業が通年雇用に結びつくのか調査・研究が求められる。

調査結果に基づき個々人に積極的に働きかけることはもとより事業活動の充実と周知活動の一層の強化が引き続き求められている。

季節労働者雇用実態調査集計表(令和2年度実施)

問1 あなた自身及び家族(生計を一にする世帯)についてお伺いします。

(1) あなたの性別及び年齢はいくつですか。

①	①男性・20歳未満	4	5%
	②男性・20歳以上30歳未満	17	22%
	③男性・30歳以上40歳未満	11	14%
	④男性・40歳以上50歳未満	18	24%
	⑤男性・50歳以上60歳未満	10	13%
	⑥男性・60歳以上65歳未満	8	11%
	⑦男性・65歳以上	8	11%
	⑧男性・無回答	0	0%
		76	100%

②	①女性・20歳未満	0	0%
	②女性・20歳以上30歳未満	0	0%
	③女性・30歳以上40歳未満	0	0%
	④女性・40歳以上50歳未満	7	64%
	⑤女性・50歳以上60歳未満	3	27%
	⑥女性・60歳以上65歳未満	1	9%
	⑦女性・65歳以上	0	0%
	⑧女性・無回答	0	0%
		11	100%

集約数

87

(2) あなたの居住地はどちらですか。

①帯広市	83	95%	
②中札内村	2	2%	
③更別村	0	0%	
④大樹町	0	0%	
⑤広尾町	2	2%	
⑥その他	0	0%	
⑦無回答	0	0%	
		87	100%

(3) あなた自身を含む世帯の人数は何人ですか。

①1人	39	45%	
②2人	16	18%	
③3人	18	21%	
④4人	10	11%	
⑤5人以上	2	2%	
⑥無回答	2	2%	
		87	100%

(4) あなた以外で働いている人数は何人ですか。

①いない	20	42%	
②1人	18	38%	
③2人	5	10%	
④3人	4	8%	
⑤4人	0	0%	
⑥5人以上	1	2%	
⑦無回答	0	0%	
		48	100%

問2 1年間のおおよその収入額及び賃金についてお伺いします。

- (1) あなた自身のおおよその年収額はいくらですか。【短期・臨時就労も含む】

①100万円未満	0	0%
②100万円以上150万円未満	9	10%
③150万円以上200万円未満	12	14%
④200万円以上250万円未満	26	30%
⑤250万円以上300万円未満	10	11%
⑥300万円以上350万円未満	12	14%
⑦350万円以上400万円未満	7	8%
⑧400万円以上	6	7%
⑨無回答	5	6%
	87	100%

- (2) 季節労働の賃金の支給形態と支給額はいくらですか。

①日給制	59	68%
②月給制	18	21%
③時給制	10	11%
④無回答	0	0%
	87	100%

①日給制の支給日額

①5,000円未満	0	0%
②5,000円以上6,000円未満	0	0%
③6,000円以上7,000円未満	3	5%
④7,000円以上8,000円未満	1	2%
⑤8,000円以上9,000円未満	9	15%
⑥9,000円以上10,000円未満	5	8%
⑦10,000円以上11,000円未満	15	25%
⑧11,000円以上12,000円未満	7	12%
⑨12,000円以上15,000円未満	15	25%
⑩15,000円以上	3	5%
⑪無回答	1	2%
	59	100%

②月給制の支給月額

①10万円未満	0	0%
②10万円以上15万円未満	0	0%
③15万円以上18万円未満	3	17%
④18万円以上20万円未満	2	11%
⑤20万円以上23万円未満	2	11%
⑥23万円以上25万円未満	2	11%
⑦25万円以上28万円未満	4	22%
⑧28万円以上30万円未満	0	0%
⑨30万円以上35万円未満	4	22%
⑩35万円以上	1	6%
⑪無回答	0	0%
	18	100%

③時給制の支給時間額

①850円未満	0	0%
②850円以上900円未満	0	0%
③900円以上950円未満	0	0%
④950円以上1,000円未満	2	20%

⑤1,000円以上1,050円未満	6	60%
⑥1,050円以上1,100円未満	0	0%
⑦1,100円以上1,200円未満	2	20%
⑧1,200円以上1,300円未満	0	0%
⑨1,300円以上1,400円未満	0	0%
⑩1,400円以上	0	0%
⑪無回答	0	0%
	10	100%

(3) 家計におけるあなた自身の収入の役割はどのようなものですか

①家計の中心となる収入	73	84%
②その他の収入（家計を補完する収入）	14	16%
③無回答	0	0%
	87	100%

問3 現在（令和2年7月1日時点）、お勤め先の業種に当てはまるものを①～⑭の中からひとつ選び、○を付けてください。

①農業	7	8%
②林業	3	3%
③漁業	0	0%
④採石、砂、砂利、玉石採取業	2	2%
⑤建設業（総合工事業）	30	34%
⑥建設業（職別工事業）	24	28%
⑦建設業（設備工事業）	2	2%
⑧食品製造業	2	2%
⑨その他製造業	3	3%
⑩電気・ガス・水道業	0	0%
⑪造園業	6	7%
⑫運輸業	2	2%
⑬警備業	1	1%
⑭その他	4	5%
⑮無回答	1	1%
	87	100%

問4 あなたが季節労働者となった理由で当てはまるものに○を付けてください。
（複数回答可）

①常用の仕事がないため	40	41%
②事業主の都合で常用から季節に切り替えられた	7	7%
③本業の収入だけでは生活できなくなった	0	0%
④収入が高い	11	11%
⑤仕事の内容が自分に向いている	26	27%
⑥冬期間休暇がとれる	11	11%
⑦本業に影響がないから	0	0%
⑧その他	1	1%
⑨無回答	2	2%
	98	100%

問5 あなたの季節労働者としての経験年数は何年ですか。

①今年から	12	14%
②昨年	14	16%
③3年未満	7	8%
④3年以上5年未満	14	16%
⑤5年以上10年未満	14	16%
⑥10年以上15年未満	6	7%
⑦15年以上20年未満	2	2%

⑧20年以上25年未満	7	8%
⑨25年以上30年未満	3	3%
⑩30年以上	5	6%
⑪無回答	3	3%
	87	100%

問6 令和元年10月から令和2年9月の間での離職の時期、再就職した時期をお伺いします。

(1) 離職月（雇用保険上の離職時期）

①令和元年10月	1	1%
②令和元年11月	6	7%
③令和元年12月	27	31%
④令和2年1月	9	10%
⑤令和2年2月	13	15%
⑥令和2年3月	14	16%
⑦令和2年4月	5	6%
⑧令和2年5月	3	3%
⑨令和2年6月	0	0%
⑩令和2年7月以降	0	0%
⑪無回答	9	10%
	87	100%

(2) 再就職月【雇用保険の短期雇用特例被保険者となった時期】

①令和元年10月	0	0%
②令和元年11月	0	0%
③令和元年12月	0	0%
④令和2年1月	0	0%
⑤令和2年2月	1	1%
⑥令和2年3月	7	8%
⑦令和2年4月	28	32%
⑧令和2年5月	25	29%
⑨令和2年6月	9	10%
⑩令和2年7月以降	13	15%
⑪無回答	4	5%
	87	100%

問7 雇用保険についてお伺いします。昨年（令和元年度）の特例一時金はどうでしたか。

①受給資格があった	74	85%
②日数が足りず、受給資格がなかった	0	0%
③雇用保険をかけてもらえなかった	3	3%
④その他	2	2%
⑤無回答	8	9%
	87	100%

問8 離職期間についてお伺いします。

(1) 離職期間の過ごし方について当てはまるものをひとつお選び下さい。

①就労していない	48	55%
②自営業	0	0%
③アルバイトなど短期・臨時の業務に就労	28	32%
④出稼ぎ	4	5%
⑤その他	0	0%
⑥無回答	7	8%
	87	100%

- (2) 離職期間中にアルバイトなど短期・臨時で就労した日数の合計はどのくらいですか。

①7日未満	7	22%
②7日～15日	7	22%
③16日～30日	8	25%
④31日～60日	4	13%
⑤61日～90日	6	19%
⑥91日以上	0	0%
⑦無回答	0	0%
	32	100%

問9 現在(令和2年7月1日時点)、働いている会社についてお伺いします。

- (1) 離職する前に働いていた会社と同じですか。

①同じ会社	64	74%
②同業の違う会社	9	10%
③他の業種の会社	12	14%
④その他	1	1%
⑤無回答	1	1%
	87	100%

問10 あなたの就労に対する考え方についてお伺いします。

- (1) 一つの事業所に年間を通して雇用(通年雇用)されることを希望しますか。

①今の仕事(職種)で通年雇用を希望	38	44%
②職種を問わず通年雇用を希望	17	20%
③このまま季節労働を継続	16	18%
④どちらともいえない	16	18%
⑤その他()	0	0%
⑥無回答	0	0%
	87	100%

- (2) 通年雇用を希望しない理由は何ですか。(複数回答可)

①離職期間中に別業務に就業する	0	0%
②配偶者控除の範囲内で就業している	2	11%
③家で休養・ゆっくりしたい	10	56%
④通年雇用は困難と判断している	5	28%
⑤その他()	1	6%
⑥無回答	0	0%
	18	100%

- (3) 通年雇用される場合に希望する仕事内容をひとつお選びください。

①農林漁業	3	5%
②生産製造工	3	5%
③事務	1	2%
④建設土木作業	24	44%
⑤営業・販売	1	2%
⑥運送関係	8	15%
⑦介護・福祉	2	4%
⑧サービス業	2	4%
⑨専門・技術職	3	5%
⑩経営・管理職	0	0%
⑪特になし	7	13%
⑫その他	1	2%
⑬無回答	0	0%
	55	100%

- (4) 通年雇用に向けどのような活動をしていますか。 (複数回答可)

①ハローワークなどで求人情報を探している	9	13%
②求人情報誌などで求人情報を探している	12	17%
③知人・友人などを通して求人情報を探している	9	13%
④資格取得などのために自習している	8	11%
⑤資格取得のため講習などを受講している	11	15%
⑥特に活動はしていない	22	31%
⑦その他	0	0%
⑧無回答	0	0%
	71	100%

- (5) この1年間で通年雇用に向けて就職のための試験や面接を受けましたか。

①受けた	11	20%
②受けてない	44	80%
③無回答	0	0%
	55	100%

- (5)-2 その求人情報の入手先はどこですか。

①ハローワーク	3	27%
②求人情報誌	2	18%
③新聞広告	1	9%
④知友人	4	36%
⑤その他	1	9%
⑥無回答	0	0%
	11	100%

- (5)-3 受けていない理由は何ですか。 (複数回答可)

①地元での求人がない	5	11%
②希望する業種・職種の求人がない	24	51%
③必要な資格・技能を持っていない	8	17%
④その他	5	11%
⑤無回答	5	11%
	47	100%

- (5)-4 あなたが通年雇用化されるために必要と考える資格・技能は何ですか。
(複数回答可)

回答欄に記載あり	3
----------	---

問11 通年雇用促進協議会や行政機関等の支援策についてお伺いします。

- (1) 「通年雇用促進協議会」について伺います。該当するものをひとつお選びください。

①協議会を利用したことがある	41	47%
②これまで利用したことはないが、今後利用する予定	14	16%
③協議会のことは知っているが、利用したことはない	16	18%
④協議会のことは知らない	16	18%
⑤その他	0	0%
⑥無回答	0	0%
	87	100%

- (2) 協議会が行っている以下の事業のうち、参加したことがあるものをお選びください。
(複数回答可)

①意識啓発セミナー	15	18%
②職業訓練事業	1	1%
③季節労働者相談窓口	0	0%
④人材育成事業 (作業免許技能講習)	22	27%

⑤人材育成事業（作業主任者）	8	10%
⑥人材育成事業（パソコン講習）	6	7%
⑦人材育成事業（ドローン講習）	2	2%
⑧人材育成事業（危険物乙種4類事前講習）	2	2%
⑨季節労働者雇用実態調査	1	1%
⑩資格取得助成	6	7%
⑪特別教育・安全衛生教育	14	17%
⑫情報提供（求人情報の送付）	5	6%
⑬無回答	0	0%
	82	100%

問12 次年度の事業メニューに反映します。参加希望の講習があればお選びください。
(複数回答可)

①足場の組立て等作業主任者	6	5%
②型枠支保工の組立て等作業主任者	5	4%
③地山掘削及び土止め支保工作業主任者	6	5%
④はい作業主任者	1	1%
⑤採石のための掘削作業主任者	3	3%
⑥コンクリート造の工作物の解体等作業主任者	4	3%
⑦危険物取扱者乙種4類試験準備講習	4	3%
⑧パソコン講習	8	7%
⑨ドローン講習	14	12%
⑩2級土木施工管理技士	7	6%
⑪2級建築施工管理技士	2	2%
⑫2級建設機械施工技士	3	3%
⑬基幹技能者講習	4	3%
⑭2級ボイラー	4	3%
⑮ない	2	2%
⑯無回答	42	37%
	115	100%

問13 協議会で行ってほしい事業等や要望などがございましたら、お書きください。

①意見欄に記入あり	1
-----------	---

【記述意見】

問3 お勤め先の業種に当てはまるものを①～⑭の中からひとつお選び下さい。

⑭その他

- ・ゴルフ場（帯広市・男性）
- ・サービス業（帯広市・女性）
- ・ゴルフ場（帯広市・男性）
- ・派遣（帯広市・男性）

問10 あなたの就労に対する考え方についてお伺いします。

(5)-2 求人情報の入手先はどこですか

⑤その他

- ・ネット（帯広市・男性・職別工事業）

(5)-3 受けていない理由は何ですか。

④その他

- ・探す時間がない（帯広市・男性・総合工事業）
- ・収入面（帯広市・男性・採石業）
- ・仕事が忙しい（帯広市・女性・総合工事業）

(5)-4 あなたが通年雇用されるために必要と考える資格・技能は何ですか。

- ・大型、大型特殊（帯広市・男性・農業）
- ・高所作業車（帯広市・男性・設備工事業）
- ・車両系建設機械（帯広市・男性・総合工事業）

問12 次年度の事業メニューの参考とします。

希望する講習があれば、具体的にお書きください。

⑮その他

- ・第2種電気工事士（帯広市・男性・農業）
- ・介護職員初任者研修（帯広市・女性・職別工事業）

問13 協議会に行ってほしい事業等や要望などがございましたら、お書きください。

- ・AI、統計などパソコンの使用した講習を行ってほしい（帯広市・男性・農業）